

1 基本項目	事務事業名	水族館施設整備事業				担当部署	課等名	水族博物館	
	予算事業名	施設整備事業					係名	管理係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	平成20年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水族館事業特別会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	水族館費	
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	水族館費	
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	水族館管理費	
		基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	水族館施設の大規模な施設改修事業	
	対象	①入館者②魚津水族館館内設備	
	手段(活動指標)	大規模な整備に関する施設改修工事	
	意図(成果指標)	効果的な改修を行い、今後10年にわたっての安定運営を図る。	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	①年間入館者数	人	152,152	148,613	150,000	149,067	99.4%	150,000	
	②								
	成果	①入館者の前年対比	%	105.0	97.7	100.0	100.3	100.3%	100.0
		②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	16,706,088	11,145,600	9,500,000	9,484,560	-14.9%	9,400,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	16,706,088	11,145,600	9,500,000	9,484,560	-14.9%	9,400,000
人件費	⑤一般財源	円						
	①事務事業に携わる正規職員数	人	2	3	3	2	-33.3%	2
	②年間所要時間	時間	700	800	800	700	-12.5%	700
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	2,818,900	3,221,600	3,221,600	2,818,900	-12.5%	2,818,900
	総費用(A+B)	円	19,524,988	14,367,200	12,721,600	12,303,460	-14.4%	12,218,900

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<ul style="list-style-type: none"> ○サンゴ魚類水槽濾過槽廻り改修工事 ○海水揚水ポンプ更新工事 ○ブラインチラー廻りポンプ更新工事 ○プレート式熱交換器取替工事 ○アクリル水槽研磨工事 ○冷水水槽裏通路防水工事 	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目		個別評価の判定
	妥当性	妥当性	A		A	特に問題なし	
有効性		A	A	②目的の妥当性	1 妥当である		
				③対象の妥当性	1 妥当である		
				①目標達成度	2 目標どおり		
効率性	B	B	進め方等の改善が必要	②類似事業の有無	1 なし		
				③上位施策への貢献度	1 高い		
				①コスト効率	2 普通		
結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	②実施主体の適正化	1 適正である		
	1次評価	方針の説明等		現状においては、計画を立てても、金額が大きすぎて、実施できない修繕が多い。与えられた予算内で優先度を考えて予算要求しており、突発的に生じる修繕は補正対応している。今後、営業に支障のある大きな修繕が生じる可能性が高くなっている。	③負担割合の適正化	1 適正である	
現状を維持			2次評価		不要		
○事業の拡充							
○事業の縮小							
統合等の検討							
終了又は廃止・休止							

1 基本項目	事務事業名	水族館企画展事業			担当部署	課等名	水族博物館
	予算事業名	企画展事業				係名	飼育研究係
	事務区分	自治事務				電話番号	0765-24-4100
	事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	會計	水族館事業特別会計
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり			項	水族館費
		施策名	施策30. 生涯学習の推進			目	水族館管理費
		基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実			総合計画主な事業	記載あり(評価対象)
		根拠法令				総合戦略との関連	関連なし
		アウトソーシング導入状況				集中プランとの関連	関連なし

2 事業概要	事業概要	担当者が世間情勢を考慮しながらテーマを選び、特別展会場を中心に年に数回開催する。
	対象	来館者
	手段(活動指標)	夏の特別展、ホタルイカ展示、シロエビ展示、クリスマス特別展示、ハロウィーン特別展示、春の特別展
	意図(成果指標)	企画展を通して、入館者は生物に対して興味がわき、知識が増える。

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 企画展の実施回数	回	6	6	6	6	100.0%	6	
	②								
	成果	① 特別展開催期間中入場者数/年間入場者数	%	100	100	100	100	100.0%	100
		②							

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額
事業費	事業費合計 (A)	円	1,344,919	1,548,463	2,300,000	1,463,207	-5.5%	1,989,000
	①国庫支出金	円						
	②県支出金	円						
	③地方債	円						
	④その他(使用料、雑入等)	円	1,344,919	1,548,463	2,300,000	1,463,207	-5.5%	1,989,000
人件費	⑤一般財源	円						
	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	3	3	2	-33.3%	2
	②年間所要時間	時間	1,560	1,960	1,960	1,160	-40.8%	1,160
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	6,282,120	7,892,920	7,892,920	4,671,320	-40.8%	4,671,320
	総費用(A+B)	円	7,627,039	9,441,383	10,192,920	6,134,527	-35.0%	6,660,320

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○企画展「危険生物展」</p> <p>○魚津出身の似顔絵師ろーにーさんの似顔絵教室 7/16・17</p> <p>○「英語の読み聞かせinうおすいファミリーウム」 9/17</p> <p>○シヨリさんのお絵かきぬり絵教室 10/7・8</p> <p>○ハロウィーン特別展示：富山湾大水槽をサポートによる飾りつけを行った</p> <p>○クリスマス特別展示：富山湾大水槽をサポートによる飾りつけを行った</p>	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	① 自治体関与の妥当性	1 妥当である
② 目的の妥当性					1 妥当である	
③ 対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評点への影響低い	① 目標達成度	2 目標どおり	
				② 類似事業の有無	1 なし	
				③ 上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	A	A	特に問題なし	① コスト効率	1 高い	
				② 実施主体の適正化	1 適正である	
				③ 負担割合の適正化	1 適正である	
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	<p>○現状を維持</p> <p>○事業の拡充</p> <p>○事業の縮小</p> <p>○統合等の検討</p> <p>○終了又は廃止・休止</p>	方針の説明等	28年度末に、特別展会場を「うおすいファミリーウム」として、初期整備を行ったので、従来規模での特別展を行わず、企画展として、比較的小規模で行っていく。また、小さいイベントを企画して行っていくことで年パス利用者を勧誘したい。	2次評価	

1 基本項目	事務事業名	水族館博物館事業				担当部署	課等名	水族博物館	
	予算事業名	博物館事業					係名	飼育研究係	
	事務区分	自治事務					電話番号	0765-24-4100	
	事業期間	開始年度	昭和56年	終了年度	当面継続	予算科目	会計	水族館事業特別会計	
	総合計画	目標名	基本目標4. 人と文化を育むまち				款	水族館費	
		政策名	政策10. 明日を担う人づくり				項	水族館費	
		施策名	施策30. 生涯学習の推進				目	水族館管理費	
		基本事業名	基本事業30-3. 博物館の充実				総合計画主な事業	記載あり(評価対象)	
	根拠法令					総合戦略との関連	関連なし		
	アウトソーシング導入状況					集中プランとの関連	関連なし		

2 事業概要	事業概要	①水族館の常設展示生物の飼育・展示 ②調査研究 ③普及活動に関わること	
	対象	①常設展示生物 ②入館者 ③普及活動	
	手段(活動指標)	①水族館の常設展示生物の飼育・展示 ②調査研究 ③うおづ水辺の調査隊活動等	
	意図(成果指標)	①水族館の展示生物をよい状態で飼育・展示ができる ②調査研究の結果を年報やホームページで公表する ③普及活動により、水生生物に対する理解が向上する	

3 指標	活動指標名・成果指標名	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			実績	実績	計画	実績	達成率	計画	
活動	① 展示生物	点	10,000	10,000	10,000	10,000	100.0%	10,000	
	② 調査研究数	件	3	3	3	3	100.0%	3	
	成果	① 本年度展示生物数/前年度の展示生物数	%	100	123	100	100	100.0%	100
		② 論文・報告発表数	数	2	5	5	8	160.0%	5

4 コスト情報	区分	単位	H27年度	H28年度	H29年度			H30年度	
			決算額	決算額	予算現額	決算額	決算増減率	当初予算額	
事業費	事業費合計 (A)	円	8,716,762	8,837,925	12,237,000	10,688,950	20.9%	9,369,000	
	財源内訳	①国庫支出金	円						
		②県支出金	円						
		③地方債	円						
		④その他(使用料、雑入等)	円	8,716,762	8,837,925	12,237,000	10,688,950	20.9%	9,369,000
⑤一般財源	円								
人件費	①事務事業に携わる正規職員数	人	3	4	4	3	-25.0%	3	
	②年間所要時間	時間	1,700	2,460	2,460	1,560	-36.6%	1,560	
	③人件費(②×@ 4,027円)(B)	円	6,845,900	9,906,420	9,906,420	6,282,120	-36.6%	6,282,120	
総費用(A+B)	円	15,562,662	18,744,345	22,143,420	16,971,070	-9.5%	15,651,120		

5 取組内容	平成29年度に取り組んだ事務事業の内容や事業費の主な内訳等	
	<p>○ホタルイカ展示 ○ホタルイカ発光実験開催 ○夏のマツカサウオの光を見よう! ○アウトリーチ活動 ○水槽クリニック：市内小学校に配布したメダカの確認と調整 ○魚津市内及び県内の生物調査を行った。</p>	

6 評価	評価の視点	H28評価	H29評価	評価結果の説明	個別評価の項目	個別評価の判定
	妥当性	A	A	特に問題なし	①自治体関与の妥当性	1 妥当である
②目的の妥当性					1 妥当である	
③対象の妥当性					1 妥当である	
有効性	A	A	目標達成度は設定にばらつきがあるため評点への影響低い	①目標達成度	2 目標どおり	
				②類似事業の有無	1 なし	
				③上位施策への貢献度	1 高い	
効率性	A	A	特に問題なし	①コスト効率	1 高い	
				②実施主体の適正化	1 適正である	
				③負担割合の適正化	1 適正である	
1次評価	結果(課長総括)	A	A	計画どおり事業を実施することが適当	不要	
	今後の方針	<p>○現状を維持 ○事業の拡充 ○事業の縮小 ○統合等の検討 ○終了又は廃止・休止</p>	方針の説明等	博物館事業は水族館の命であり、この部分の充実に力を入れるのは欠かすことができない。恒常的な展示更新や話題性のある生物展示、普及活動などを行って、情報を発信することで、魚津水族館の魅力をアピールしたい。またサポーター活動をより充実して、新たな活動につなげていきたい。	2次評価	